

氏名：渡部 翠

学校：マルボロカレッジマレーシア Year6 (小学五年生)

題名：マレーシアの授業の必需品

私の学校ではどこをみても Mac や iPad などのエレクトロニクスがある。それらを授業で使うからだ。学校の音楽会でもエレクトロニクスは使われる。音楽会というと着飾った子供達がピアノを弾いたりして観客は聴くというイメージがあるが、先月の音楽会では男子生徒が launchpad(音楽を奏でカラフルに光るパッド)という機械と Mac を繋げて、新しい音楽と映像を披露をした。私の通うマレーシアの学校は1人一台のコンピュータが必要で、授業で使う。情報を集めたり、ドリルやテストをゲーム形式にし楽しむ。歴史では動画を使う事で名前や出来事が身近に感じて理解しやすい。マレーシアでは雷による停電があるが、授業中停電した場合天井の電気は消えてもバッテリー入りのコンピュータは問題ないから授業はそのまま続ける事ができる。

日本の公立小学校では黒板、紙、鉛筆で学び、コンピュータを使うのは先生が e テレの番組を見せてくれるくらいだ。私は世界中のどこの学校でもコンピュータの便利さと面白さを感じられるようにしたい。コンピューターがあれば、ある授業で習った事を全ての授業と繋げる事ができる。例えば社会の時間で地球温暖化について習い、理科の授業で地球温暖化が生物の住みかに及ぼす影響について習って、国語で地球温暖化についての新聞記事を書いて、算数で温暖化ガスの濃度を身近な単位におき変えて、最後にコンピュータを使って習った事を使って地球温暖化についての大きなテレビ番組を作るなどし授業をつなげて巨大プロジェクトのようになれば習った事が定着しやすいし、楽しい。私達は生活の中で沢山電気の恩恵を受けている。そして将来、世界中の人たちがその恩恵を受けながら、電気のメリットをもっと発達させられるようになることを願う。